



(参考仮訳)

プレスリリース No. 11/312
即時解禁
2011年8月24日

国際通貨基金 (IMF)
米国・ワシントン DC

クリスティーヌ・ラガルド IMF 専務理事による 「アフリカの角」地域の干ばつに関する声明

国際通貨基金 (IMF) のクリスティーヌ・ラガルド専務理事は本日、深刻な干ばつの影響下にある「アフリカの角」地域の諸国のためのアディスアベバでの誓約会議に先立ち、以下の声明を発表した。

「IMFはこの度の人道的悲劇を深く憂慮しており、IMFを代表し、国際的な支援の取り組みに対する可能な限りの支援を約束する。

経済的な影響や資金調達ニーズの評価など我々の専門分野において、同地域の被害国と緊密に協力している。我々は、当面の支援、並びに長期的な食料の確保を実現するためのツイン・トラック・アプローチに対する国際社会のこれまでの支援を歓迎し、また更なる参加を期待する。IMFは、既存のプログラムに基づく支援を強化すると共に、必要に応じ、緊急を要する国際収支上の問題に直面している諸国に対し迅速に融資を実行するラピッド・クレジット・ファシリティを通し、干ばつ被害国に対し金融支援を行う用意がある。我々は現在、ジブチ及びケニアからの追加支援の要請について協議を行っているが、他の被災国についても、政府当局の要請をもとに、さらなる支援を行う用意がある」